

豊川市循環型社会形成推進地域計画

平成 24 年 12 月策定
平成 25 年 12 月改定

豊 川 市

* * * * * 目 次 * * * * *

1	地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項	1
(1)	対象地域	1
(2)	計画期間	1
(3)	基本的な方向	1
(4)	広域化の検討状況	2
2	循環型社会形成推進のための現状と目標	2
(1)	一般廃棄物等の処理の現状	2
(2)	一般廃棄物等の処理の目標	3
3	施策の内容	5
(1)	発生抑制、再使用の推進	5
(2)	処理体制	5
(3)	処理施設等の整備	8
(4)	施設整備に関する計画支援事業	8
(5)	廃棄物処理施設における長寿命化計画策定支援事業	9
(6)	その他の施策	9
4	計画のフォローアップと事後評価	10
(1)	計画のフォローアップ	10
(2)	事後評価及び計画の見直し	10
様式 1	循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1	11
様式 2	循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2	12
様式 3	地域の循環型社会形成推進のための施策一覧	13
参考資料様式 1	施設概要（リサイクル施設系）	14
参考資料様式 1	施設概要（リサイクル施設系）	15
参考資料様式 2	施設概要（熱回収施設系）	16
参考資料様式 6	計画支援概要	17
参考資料様式 6	計画支援概要	18
添付資料		19
豊川市全図		24

1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

構成市町村名	豊川市
面積	160.79 km ²
人口	181,150 人（平成 24 年 10 月 1 日現在）

(2) 計画期間

本計画は、平成 25 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの 5 年間を計画期間とする。
なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

《市の沿革》

豊川市は、平成 18 年 2 月に宝飯郡一宮町を、平成 20 年 1 月に宝飯郡音羽町・宝飯郡御津町を、平成 22 年 2 月に宝飯郡小坂井町を編入合併している。

《地域特性》

豊川市は、代表的な太平洋型気候の中に位置し、冬でも温暖な恵まれた環境をもつ地域である。また、東京・名古屋・大阪を結ぶ三大都市圏の中央に位置し、東名高速道路、国道 1 号線・151 号線を始めとする主要な幹線道路が縦横に配置され、交通アクセスも至便である。こうした環境を生かし、市内各地域で産業がバランスよく発展している。

農業は、穏やかな気候と肥沃な土地、豊川用水による豊富な水などの条件を生かし、施設園芸を中心に、米、畜産など多様な農業生産分野を持っている。畑耕地が多く、従来から野菜などの生産が盛んであり、しそ、菊、バラの生産は全国上位である。

工業は、工業団地等には輸送機器・一般機器・電気機器を中心に多くの工場が進出し、中小の地場産業も数多く、東三河内陸工業地帯の中核を担っている。

商業においては、豊川、牛久保、諏訪、国府・御油、一宮と地区ごとに商店街が分散しており、それぞれの地区において発展している。特に諏訪においては、商業ビルやホテルなどの再開発を行っている。

《一般廃棄物の処理状況》

ごみに関しては、町の編入合併により、それまで個々の自治体で実施してきた資源の処理など、処理施設の能力不足のために 1 か所に集約することができず、効率が悪く、コスト高となっているなど新たな課題を抱えている。ごみの総排出量に関しては、近年減少しており、引き続き「4R*」を推進し、循環型社会を構築していくことが重要である。

4R：使用する見込みのない物の受取拒否（リフューズ）、廃棄物の発生抑制（リデュース）、部品の再使用（リユース）、使用済み製品の原材料としての再利用（リサイクル）

《重点的な施策》

○プラスチック製容器包装、刈り草・剪定枝の資源化推進

現在の分別区分で可燃ごみとして処分しているプラスチック製容器包装（ペットボトルと白色トレイを除く。）や刈り草・剪定枝について、資源収集品目とし、回収量を増やしていく。

○不燃ごみや粗大ごみからの資源選別

排出された不燃ごみや粗大ごみから再生可能な素材を選別し、資源化量の増加を図る。

○資源の拠点回収

資源の回収については、週1回のステーション回収の他に、月2回、市役所東隣の倉庫で拠点回収を実施しており、今後も継続していくとともに、回収日の増加や回収場所の増設も検討していく。

○希少金属回収の推進

携帯電話、デジタルカメラなど、様々な製品に含まれる希少金属の回収については、不燃ごみとして回収し、分別し売却を実施しており、今後も継続していくとともに、啓発・情報提供を通じて、販売店の店頭回収により推進していく。

(4) 広域化の検討状況

愛知県では、「第2次愛知県ごみ焼却処理広域化計画(平成20年度～平成29年度)」を平成21年3月に策定している。この計画では、県内を13ブロックに分け、施設の集約化と整備を図り、ごみ処理の広域化を目指している。

本地域は、東三河ブロック「豊川市、蒲郡市、新城市、北設広域事務組合(設楽町、東栄町、豊根村、長野県根羽村)」に位置づけられている。

本ブロックにおける焼却処理広域化の検討状況については、愛知県の広域化計画に基づく実施計画の位置づけとして、平成24年3月に、計画期間を平成24年度から平成43年度までとする東三河ごみ焼却施設広域化計画を策定し、広域化を目指している。

その計画においては、第1段階として北設広域事務組合と新城市、蒲郡市と豊川市のグループに分けて既存の施設を活かしながら部分的な統合、更新を行って処理を継続し、第2段階として次期計画期間である平成44年度以降に一本化を目指すものとしている。

豊川市の焼却施設は平成4年度稼働のストーカ炉と平成15年度稼働の熔融炉の2体制であるが、ストーカ炉は蒲郡市の平成9年度稼働の炉と併せて更新する計画であり、蒲郡市の炉の更新時期となるまでは延命化措置が必要な状況である。

なお、焼却施設以外については、広域化に向けた具体的な計画は無い。

2 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 一般廃棄物等の処理の現状

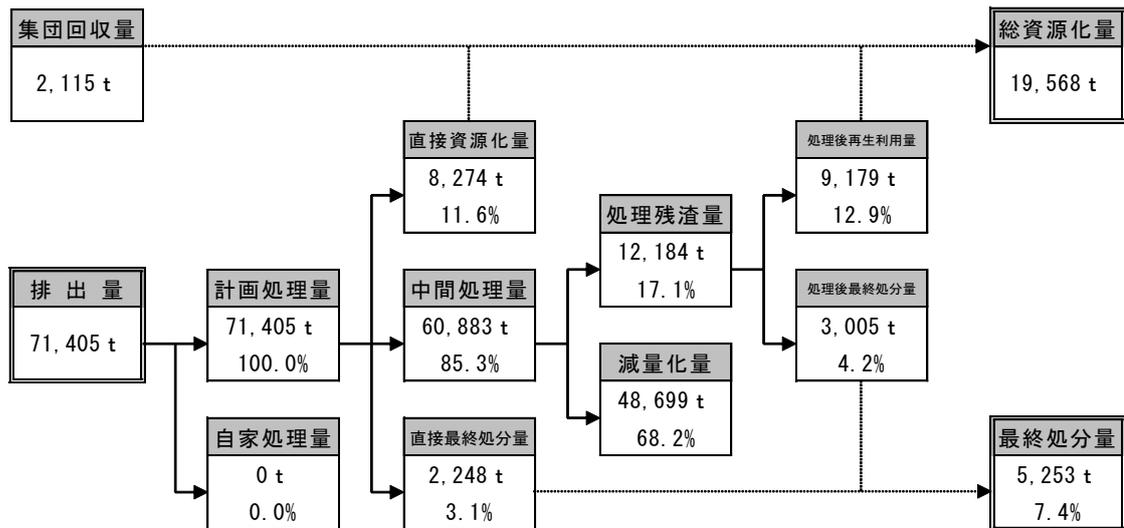
平成23年度の一般廃棄物の排出、処理状況は図1に示すとおりである。

総排出量は、集団回収量も含め、73,520 t であり、再生利用される「総資源化量」は19,568 t、リサイクル率（＝(直接資源化量＋中間処理後の再生利用量＋集団回収量)／

(ごみの総処理量+集団回収量)は26.6%である。

中間処理による減量化量は48,699 tであり、集団回収量を除いた排出量の68.2%が減量化されている。また、集団回収量を除いた排出量の7.4%に当たる5,253 tが埋め立てられている。

なお、中間処理量のうち、焼却量は55,272 tである。焼却施設から発生する余熱は、発電及び施設内の冷暖房への利用のほか、隣接する福祉施設において入浴施設などに利用している。



※小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳と合計が一致しない場合がある。

図1 一般廃棄物の処理状況フロー (平成23年度)

(2) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指し、表1に示すとおり目標量について定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

現有の清掃工場については、焼却施設広域化計画に基づき長寿命化を実施し、適正な処理及び資源化を推進するとともに、効率的な余熱利用に取り組んでいくものとする。

また、更なる資源化に向け、刈り草・剪定枝の破碎堆肥化施設、不燃ごみの選別施設、資源(金属・缶類、びん類)の選別施設、紙・布類ストックヤードについて平成27年度に整備を計画している。

目標時の処理状況フローは図2に示すとおりである。

表 1 減量化、再生利用に関する現状と目標

指 標		現 状 (割合※ ¹) (平成23年度)	目 標 (割合※ ¹) (平成30年度)
排 出 量	事業系 総排出量	19,064 t	16,084 t (-15.6%)
	1事業所当たりの排出量※ ²	2.4 t/事業所	1.6 t/事業所 (-33.3%)
	家庭系 総排出量	52,341 t	47,952 t (-8.4%)
	1人当たりの排出量※ ³	229 kg/人	193 kg/人 (-15.7%)
合 計	事業系家庭系排出量合計	71,405 t	64,036 t (-10.3%)
再生利用量	直接資源化量	8,274 t (11.6%)	10,468 t (16.3%)
	総資源化量	19,568 t (27.4%)	25,058 t (39.1%)
熱回収量	熱回収量	10,926 MWh	8,484 MWh
減量化量	中間処理による減量化量	48,699 t (68.2%)	37,511 t (58.6%)
最終処分量	埋立最終処分量	5,253 t (7.4%)	4,056 t (6.3%)

注) 事業所数は「経済センサス・基礎調査」(総務省統計局)より8,036[平成21年](業務内容不明を含む。)

※1 排出量は現状に対する割合、その他は排出量に対する割合

※2 (1事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量)} / (事業所数)

※3 (1人当たりの排出量) = {(家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源ごみ量)} / (人口)

《指標の定義》

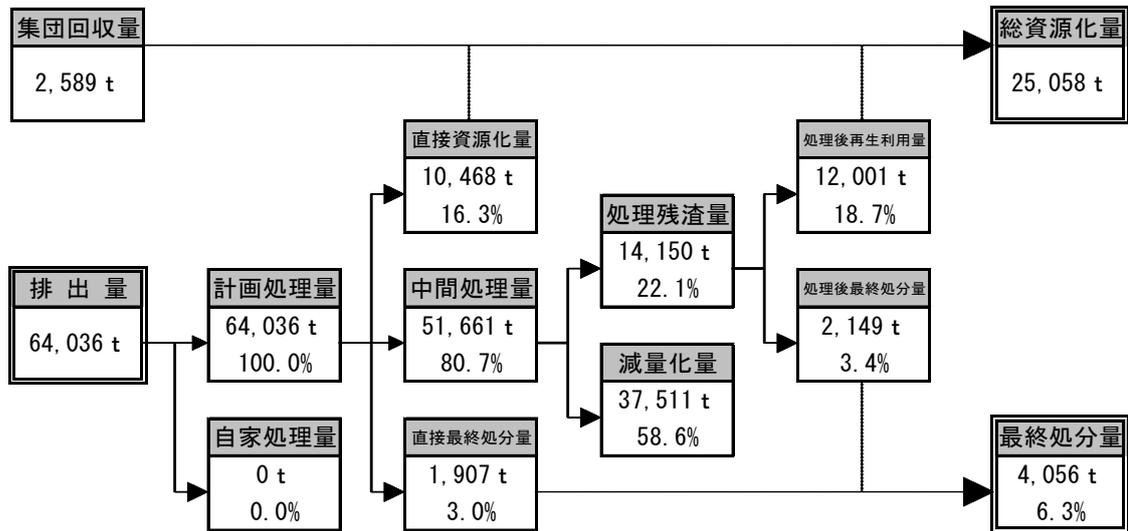
排 出 量 : 事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量(集団回収されたごみを除く。)[単位: t]

再生利用量 : 集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和 [単位: t]

熱回収量 : 熱回収施設において回収される年間熱量 [単位: MWh]

減量化量 : 中間処理量と処理後の残さ量の差 [単位: t]

最終処分量 : 埋立処分された量 [単位: t]



※小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳と合計が一致しない場合がある。

図 2 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー (平成30年度)

3 施策の内容

(1) 発生抑制、再使用の推進

ア 家庭ごみ有料化の検討

家庭ごみの有料化については、他の減量化施策や経費削減施策による効果を見ながら検討していく。

イ 商品購入時におけるごみ発生抑制

商品を購入する際に、無駄なものを買わない、もらわない、耐久性に優れた商品を購入するよう、啓発を行っていく。

ウ 過剰包装の抑制

レジ袋や使い捨て紙袋、過剰包装の抑制のため、市民団体、販売店、行政が協力してマイバッグ普及に向けた会議や店頭での広報活動を実施していく。

また、レジ袋の有料化について協力店舗の拡大を図る。

エ 生ごみ処理の推進

生ごみの減量対策の一つとして、生ごみ処理機(電動式)の購入時の補助制度を継続していく。

また、生ごみ処理方法の紹介など広報啓発に努め、利用拡大を図っていく。

オ リサイクルの情報提供

現在、市で行っている不用品交換情報誌「月刊クルクル」や「インターネット版クルクル」の普及拡大により、情報を充実させ、利用の促進を図っていく。

カ 粗大ごみのリユース

粗大ごみから再使用可能な良品を選別して、市民に提供する制度づくりを進める。また、家具類、電化製品、自転車などを手入れや修理により長期利用し、ごみ排出量の削減を図るよう広報、啓発を行っていく。

キ デポジット制度の導入支援

デポジット制度の導入を事業者働きかけ、支援していく。

(2) 処理体制

ア 家庭ごみの処理体制の現状と今後

分別区分及び処理方法については、表2に示すとおりである。

現在、可燃ごみは清掃工場で行っている。不燃ごみは不燃ごみ選別暫定施設で可燃、不燃、資源に分別し、それぞれ焼却、埋め立て、民間委託を行っている。粗大ごみは粗大ごみ受付センターで受け入れ、選別を行い、民間委託による破砕資源化処理を行っている。資源については、ペットボトル、白色トレイ及び危険ごみは処理センターで、金属・缶類及びびん類は資源選別暫定施設で選別加工を行い、資源化しているが、資源選別暫定施設は市町合併で増加した量を全量処理できず、民間委託を

併用している。また、不燃ごみ選別暫定施設及び資源選別暫定施設については本格整備までの繋ぎの施設として設置されており、簡易な造りであるため、経年劣化による施設の消耗が著しく、安定処理の継続に不安がある状況である。

今後は、清掃工場の長寿命化を検討するとともに、更なる資源化量の増加並びに適切な資源化体制の確立を図るため、刈り草・剪定枝の破砕、堆肥化処理施設、不燃ごみの選別施設、資源(金属・缶類、びん類)の選別施設、紙・布類ストックヤード、プラスチック製容器包装の選別梱包施設(民間委託も検討)の整備を計画している。

イ 事業系一般廃棄物の処理体制の現状と今後

事業系ごみについては、許可業者への委託若しくは直接搬入を認めており、いずれも処理手数料を徴収している。

今後も処理手数料は発生抑制、経済状況等の観点から精査を継続するとともに、事業者意識の啓発、資源回収業者の紹介・斡旋等により、事業系ごみの排出抑制・資源化を推進していく。

また、道路や河川の維持管理で発生する刈り草や剪定枝については、野焼きの禁止により清掃工場への搬入量が増加している。これらは家庭ごみと同様、破砕、堆肥化処理施設を設置して、チップ状態での利用や堆肥化を行うこととし、清掃工場の負担軽減を図る。

ウ 一般廃棄物処理施設で併せて処理する産業廃棄物の現状と今後

現状は産業廃棄物の処理を行っておらず、今後も併せて処理する予定は無い。

エ 今後の処理体制の要点

- ◇ 清掃工場について施設長寿命化の検討を行うとともに、それに基づく基幹整備を行う。
- ◇ 刈り草・剪定枝破砕堆肥化施設、不燃ごみの選別施設、資源(金属・缶類、びん類)の選別施設及び紙・布類ストックヤードの整備を平成27年度～平成28年度の2か年で計画している。

表2 豊川市の家庭ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現 状 (平成23年度)				
分別区分	処理方法	処理施設等		処理実績 (t)
		一次処理	二次処理	
可燃ごみ	焼却 (熱回収)	清掃工場	焼却灰：最終処分場 スラグ、メタル：売却	37,252
不燃ごみ	破碎選別	不燃ごみ選別 暫定施設	可燃分：焼却 資源：売却 不燃分：最終処分場	1,417
危険ごみ	選別	処理センター	委託処分及び売却	122
粗大ごみ	破碎選別	粗大ごみ受付 センター	鉄類：売却 木類：委託破碎後、焼却 布団類：委託破碎後、焼却	2,773
資 源	紙類	売却		7,909
	金属・缶類	資源選別暫定 施設	売却	598
	びん類		委託資源化 (一部指定法人)	1,335
	古着	委託資源化		365
	ペットボトル	処理センター	委託資源化 (指定法人)	538
	白色トレイ		売却	32

今 後 (平成30年度)				
分別区分	処理方法	処理施設等		処理予定量 (t)
		一次処理	二次処理	
可燃ごみ	焼却 (熱回収)	清掃工場	焼却灰：最終処分場 スラグ、メタル：売却	30,617
資源	刈り草・ 剪定枝	リサイクル	刈り草・剪定枝 破碎堆肥化施設	売却若しくは無償配布 322
不燃ごみ	破碎選別	不燃ごみ選別 施設	可燃分：焼却 資源：売却 不燃分：最終処分場	1,091
危険ごみ	選別	処理センター	委託処分及び売却	125
粗大ごみ	破碎選別	粗大ごみ受付 センター	鉄類：売却 木類：委託破碎後、焼却 布団類：委託破碎後、焼却	2,885
資 源	紙類	リサイクル	紙・布類ストック ヤード	売却 9,817
	金属・缶類		資源選別施設	売却 528
	びん類			委託資源化 (一部指定法人) 1,239
	古着		紙・布類ストック ヤード	委託資源化 651
	ペットボトル		処理センター	委託資源化 (指定法人) 585
	白色トレイ			売却 92

危険ごみはスプレー缶、ライター、乾電池、蛍光管、水銀体温計の5品目

(3) 処理施設等の整備

上記(2)の分別区分及び処理体制で処理を行うため、表3のとおり必要な施設整備を行う。

表3 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設定予定地	事業期間
1	マテリアルリサイクル推進施設	豊川市緑のリサイクルセンター (仮称) 整備事業		豊川市長草町 美佐々木・川向	H27～H28
		刈り草・剪定枝 破砕堆肥化施設	16 t / 日		
		資源選別施設	金属・缶類 2.2 t / 日 びん類 5.2 t / 日		
		不燃ごみ選別施設	6 t / 日		
		紙・布類ストックヤード	500 m ²		
2	熱回収施設	豊川市清掃工場 基幹的設備改良事業		豊川市平尾町 親坂 50 番地	H27～H29 (H31 まで継続)
		ストーカ式焼却炉	134 t / 日		H29 (H31 まで継続)
		シャフト炉式ガス化溶融炉	130 t / 日		H27～H29 (H30 まで継続)

(整備理由)

事業番号1：資源化事業拡大に伴う施設の整備及び施設の老朽化、資源回収量拡大に伴う施設の整備

事業番号2：施設の老朽化及び処理能力の低下のための基幹的整備及び施設の長寿命化

(4) マテリアルリサイクル推進施設整備に関する計画支援事業

(3)の施設整備に先立ち、表4のとおり計画支援事業を行う。

表4 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
31	マテリアルリサイクル推進施設(事業番号1)に係る環境影響評価業務	環境影響評価等	H25～H26
	マテリアルリサイクル推進施設(事業番号1)に係る測量・地質調査業務	測量・地質調査	H25
	マテリアルリサイクル推進施設(事業番号1)に係る施設基本設計業務	施設基本設計	H26
	マテリアルリサイクル推進施設(事業番号1)に係る施設実施設計業務	施設実施設計	H26
	マテリアルリサイクル推進施設(事業番号1)に係る造成工事実施設計業務	造成工事実施設計	H26

(5) 熱回収施設整備に関する計画支援事業

(3)の施設整備に先立ち、表5のとおり計画支援事業を行う。

表5 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
32	熱回収施設(事業番号2)に係るストーカ式焼却炉発注仕様書作成業務	ストーカ式焼却炉発注仕様書作成	H28
	熱回収施設(事業番号2)に係るシャフト炉式ガス化溶融炉発注仕様書作成業務	シャフト炉式ガス化溶融炉発注仕様書作成	H26

(6) 廃棄物処理施設における長寿命化計画策定支援事業

以下(3)の施設整備に先立ち、表5のとおり長寿命化計画策定支援事業を行う。

表5 実施する長寿命化計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
33	豊川市清掃工場長寿命化計画策定支援事業	施設長寿命化計画作成	H25

(7) その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

ア 不法投棄対策

- ・市民からの通報、相談に対する迅速な対応
- ・公共用地への不法投棄物の速やかな除去
- ・民有地への不法投棄物は、原則は土地の占有者の責務とするが、被害程度の大きい場合は一部の公共負担を検討

イ 在宅医療廃棄物の適正処理

在宅医療廃棄物について、安全かつ適正な収集及び処理を実施するため、適正な排出方法など、広報(ごみカレンダー・ホームページ)、啓発を行っていく。

ウ 災害廃棄物対策

災害廃棄物対策については、平成23年3月策定の豊川市一般廃棄物処理基本計画の中で、災害廃棄物処理計画を定めており、これに基づき対応を行うものとする。

主な方針は以下のとおり。

- ・可燃物

焼却処理を行うが、能力不足の場合は災害時の協定に基づき県内他団体の焼却施設に協力を求める。

・埋立処分対象物

復興後の最終処分場利用にも配慮して、埋立処分は極力少なくし、再生利用可能物は適正に再生できるよう受け入れ先の確保に努める。

・災害廃棄物の保管

一時保管場所及び作業場所として、40,000 m²以上を目標とする。保管場所の候補地は下表のとおりとする。

【災害廃棄物保管場所】

名 称	住 所	面 積
豊川市深田最終処分場	豊川市千両町深田 31 番地 1	23,300 m ²
豊川市三月田最終処分場	豊川市千両町三月田 61 番地 1	48,200 m ²
旧音羽最終処分場	豊川市萩町ゲンザウ 93 番地 70	7,744 m ²

※上記の他、適所を検討する。

4 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、愛知県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (平成 24 年度)

1 地域の概要

(1)地域名	豊川市	(2)地域内人口	181,150 人	(3)地域面積	160.79 km ²
(4)構成市町村等名	豊川市	(5)地域の要件	人口 面積 沖繩 離島 奄美 豪雪 山村 半島 過疎 その他		
(6)構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	組合を構成する市町村： 設立されていない場合、今後の見通		設立(予定)年月日： 年 月 日設立、認可予定		

2 減量化、再生利用の現状と目標

指 標	過去の状況・現状 (排出量に対する割合)						目 標
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成30年度
排 出 量	事業系 総排出量 (t)	17,760	18,748	17,858	17,145	19,064	16,084 (H23比 -16%)
	1事業所当たりの排出量 (t/事業所)	2.2	2.3	2.2	2.1	2.4	1.6
	家庭系 総排出量 (t)	55,952	54,464	53,246	51,965	52,341	(集計中) 47,952 (H23比 -8%)
	1人当たりの排出量 (kg/人)	235	232	229	224	229	193
合 計 事業系家庭系排出量合計 (t)	73,712	73,212	71,104	69,110	71,405	64,036 (H23比 -10%)	
再生利用量	直接資源化量 (t)	10,302 (14%)	9,259 (13%)	8,753 (12%)	8,583 (12%)	8,274 (12%)	(集計中) 10,468 (16%)
	総資源化量 (t)	16,155 (22%)	15,278 (21%)	20,723 (29%)	19,218 (28%)	19,568 (27%)	25,058 (39%)
熱 回 収 量	熱回収量 (年間の発電電力量 MWh)	9,320	8,597	9,132	9,419	10,926	— 8,484
減 量 化 量	中間処理による減量化量 (中間処理前後の差 t)	56,256 (76%)	55,195 (75%)	48,248 (68%)	48,384 (70%)	48,699 (68%)	(集計中) 37,511 (59%)
最終処分量	埋立最終処分量 (t)	3,277 (4%)	4,917 (7%)	4,331 (6%)	3,720 (5%)	5,253 (7%)	(集計中) 4,056 (6%)

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付した。(添付資料1)

3 現有施設の現状と、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容			更新、廃止、新設の内容					備考	
		形式及び処理方式	補助の有無	処理能力 (単位)	開始年月	更新、廃止 予定年月	更新、廃止 理由	形式及び処理方式	施設竣工 年月		処理能力 (単位)
焼却施設	豊川市	ストーカ式焼却炉 シャフト炉式ガス化溶融炉	有	67 t/日×2炉 65 t/日×2炉	H 4. 4 H15. 4	H32. 3 H31. 3	施設老朽化に伴う施設長寿命化基幹整備	ストーカ式焼却炉 シャフト炉式ガス化溶融炉	H32. 3 H31. 3	67 t/日×2炉 65 t/日×2炉	
不燃ごみ選別施設	豊川市	手選別	なし		H 7. 11	H29. 3	老朽化に伴い	破碎、選別	H29. 3	6 t/日	
資源選別施設	豊川市	金属 : 手選別 缶類 : 磁力選別 びん類 : 手選別	なし	金属・缶類 : 1.0 t/日 びん類 : 1.7 t/日	H 5. 4	H29. 3	老朽化及び合併による能力不足に伴い	選別	H29. 3	金属・缶類 : 2.2 t/日 びん類 : 5.2 t/日	
資源選別施設	豊川市	ペットボトル : 圧縮梱包 蛍光灯 : 圧縮梱包 白色トレ : 減容固化	なし	ペットボトル : 1.12 t/日 蛍光灯 : 0.96 t/日 白色トレ : 0.48 t/日	H13. 4	未 定					
紙・布類ストックヤード	豊川市		未実施					ストックヤード	H29. 3	紙・布類 500m ²	
刈り草・剪定枝 破碎堆肥化施設	豊川市		未実施					破碎、堆肥化	H29. 3	16 t/日	
最終処分場(深田)	豊川市	管理型最終処分場	有	80,000m ³	H 3. 4	未 定					
最終処分場(三月田)	豊川市	管理型最終処分場	有	105,000m ³	H11. 4	未 定					
最終処分場(足山田)	豊川市	管理型最終処分場	有	17,856m ³	S61. 4	未 定					
最終処分場(金野)	豊川市	管理型最終処分場	有	9,102m ³	H 6. 4	未 定					
最終処分場 (豊川市一宮焼却灰)	豊川市	管理型最終処分場(灰専用)	有	84,493m ³	H11. 4	未 定					
最終処分場 (豊川市千両焼却灰)	豊川市	管理型最終処分場(灰専用)	なし	24,641m ³	H 3. 4	埋立終了					

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2（平成24年度）

事業種別	事業番号 ※1	事業主体 名称 ※2	規模 単位	事業期間 交付期間		総事業費（千円）					交付対象事業費（千円）					備考		
				開始	終了	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度			
○再生利用に関する事業						930,000	0	0	651,000	279,000	0	930,000	0	0	651,000	279,000	0	
マテリアルリサイクル推進施設						930,000	0	0	651,000	279,000	0	930,000	0	0	651,000	279,000	0	
刈り草・剪定枝破砕堆肥化施設整備	1	豊川市	16.0 t/日	H27	H28	480,000	0	0	336,000	144,000	0	480,000	0	0	336,000	144,000	0	
資源選別施設整備	1	豊川市	7.4 t/日	H27	H28	450,000	0	0	315,000	135,000	0	450,000	0	0	315,000	135,000	0	
不燃ごみ選別施設整備	1	豊川市	6.0 t/日															
紙・布類ストックヤード整備	1	豊川市	500 m ²															
○熱回収等に関する事業						3,076,700	0	0	187,000	1,281,500	1,608,200	1,576,300	0	0	53,900	952,600	569,800	
ごみ処理施設の基幹的設備改良事業						3,076,700	0	0	187,000	1,281,500	1,608,200	1,576,300	0	0	53,900	952,600	569,800	
ストーカ式焼却炉	2	豊川市	134.0 t/日	H29	H29	443,300	0	0	0	443,300	82,500	0	0	0	0	0	82,500	※H31まで 継続
シャフト炉式ガス化溶融炉	2	豊川市	130.0 t/日	H27	H29	2,633,400	0	0	187,000	1,281,500	1,164,900	1,493,800	0	0	53,900	952,600	487,300	※H30まで 継続
○マテリアルリサイクル推進施設整備に関する計画支援事業						91,101	6,386	84,715	0	0	0	91,101	6,386	84,715	0	0	0	
事業番号1に係る環境影響評価業務	31	豊川市		H25	H26	6,930	2,966	3,964	0	0	0	6,930	2,966	3,964	0	0	0	
事業番号1に係る測量・地質調査業務	31	豊川市		H25	H25	3,420	3,420	0	0	0	0	3,420	3,420	0	0	0	0	
事業番号1に係る施設基本設計業務	31	豊川市		H26	H26	20,676	0	20,676	0	0	0	20,676	0	20,676	0	0	0	
事業番号1に係る施設実施設計業務	31	豊川市		H26	H26	50,269	0	50,269	0	0	0	50,269	0	50,269	0	0	0	
事業番号1に係る造成工事実施設計業務	31	豊川市		H26	H26	9,806	0	9,806	0	0	0	9,806	0	9,806	0	0	0	
○熱回収施設整備に関する計画支援事業						7,414	0	3,707	0	3,707	0	7,414	0	3,707	0	3,707	0	
事業番号2に係るストーカ式焼却炉発注仕様書作成業務	32	豊川市		H28	H28	3,707	0	0	0	3,707	0	3,707	0	0	0	3,707	0	
事業番号2に係るシャフト炉式ガス化溶融炉発注仕様書作成業務	32	豊川市		H26	H26	3,707	0	3,707	0	0	0	3,707	0	3,707	0	0	0	
○廃棄物処理施設における長寿命化計画策定支援事業						11,403	11,403	0	0	0	0	11,403	11,403	0	0	0	0	
事業番号2に係る長寿命化計画策定支援事業	33	豊川市		H25	H25	11,403	11,403	0	0	0	0	11,403	11,403	0	0	0	0	
合計						4,116,618	17,789	88,422	838,000	1,564,207	1,608,200	2,616,218	17,789	88,422	704,900	1,235,307	569,800	

※1 事業番号については、計画本文3(3)表3・(4)表4・(5)表5に示す事業番号及び様式3の施設整備に関する事業番号と一致させること。また、様式3に示す施策のうち関連するものがあれば、合わせて番号を記入すること。

※2 広域連合、一部事務組合等については、欄外に構成する市町村を注記すること。

※3 実施しない事業の欄は削除して構わない。

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	事業番号	施策の名称	施策の内容	事業主体	事業期間		交付金 必要の 要否	事業計画					備考		
					開始	終了		平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度			
発生抑制、 再使用の推 進に関する もの	11	家庭ごみ有 料化の検討	他の減量化施策や経費削減施策 による効果を見ながら検討して いく。	豊川市	H 25	H 29									
	12	商品購入時 におけるご み発生抑制	商品を購入する際に、無駄なも のを買わない、もらわない、耐 久性に優れた商品を購入するよ う、啓発を行っていく。	豊川市	H 25	H 29									
	13	過剰包装の 抑制	過剰包装の抑制のため、マイ バッグ運動を推進していく。 レジ袋の有料化について協力店 舗の拡大を図る。	豊川市	H 25	H 29									
	14	生ごみ処理 の推進	生ごみ処理機(電動式)の購入時 の補助制度を継続していく。 生ごみ処理の広報啓発に努め、 利用拡大を図っていく。	豊川市	H 25	H 29									
	15	リサイクル の情報提供	現在、市で行っている不用品交 換情報誌の普及拡大により、情 報を充実させ、利用の促進を 図っていく。	豊川市	H 25	H 29									
	16	粗大ごみの リユース	粗大ごみの再使用を推進してい く。家具類などを手入れや修理 により長期利用するよう広報、 啓発を行っていく。	豊川市	H 25	H 29									
	17	デポジット制 度の導入支援	デポジット制度の導入を事業者 に働きかけ、支援していく。	豊川市	H 25	H 29									
処理体制の 構築、変更 に関するもの	21	刈り草・剪定 枝の収集体制 の検討	刈り草・剪定枝の適切な資源化 が行えるよう、施設や収集体制 の検討をしていく。	豊川市	H 25	H 29									
	22	資源保管施設 の整備の検討	回収された資源の品質を確保す るため、保管施設の整備を検討 していく。	豊川市	H 25	H 29									
	23	埋立対象物 の破碎減容 設備導入の 検討	最終処分場の新規設置は難しく、 既存の最終処分場を有効に 利用するために、陶器類やガラ ス類など埋立対象物の破碎減容 設備導入を検討する。	豊川市	H 25	H 29									
処理施設の 整備に関する もの	1	刈り草・剪定 枝の処理施設 の整備	焼却ごみ量削減のため、刈り 草・剪定枝の処理施設を整備す る。	豊川市	H 27	H 28	○								
	1	不燃ごみ選別 施設、資源選 別施設の更新、紙・布類 ストックヤードの新設	老朽化著しい不燃ごみの選別施設 の建設を早急に進めるとともに、 紙・布類ストックヤードを 整備し収集効率の向上を図る。	豊川市	H 27	H 28	○								
	2	ごみ処理施設 基幹的設備改良 事業	ごみ処理施設の長寿命化を図る 施設整備をする。	豊川市	H 27	H 29	○								※H31まで 継続
マテリアル リサイクル 推進施設整備 に係る計画 支援に関する もの	31	事業番号11に 係る環境影響 評価業務	環境影響評価等	豊川市	H 25	H 26	○								
	31	事業番号11に 係る測量・地 質調査業務	測量・地質調査	豊川市	H 25	H 25	○								
	31	事業番号11に 係る施設基本 設計業務	施設基本設計	豊川市	H 26	H 26	○								
	31	事業番号11に 係る施設実施 設計業務	施設実施設計	豊川市	H 26	H 26	○								
	31	事業番号11に 係る造成工事 実施設計業務	造成工事実施設計	豊川市	H 26	H 26	○								
熱回収施設 整備に係る 計画支援に 関するもの	32	事業番号21に 係るストーカ 式焼却炉発注 仕様書作成業務	発注仕様書作成	豊川市	H 28	H 28	○								
	32	事業番号21に 係るシャフト 炉式ガス化溶 融炉発注仕様 書作成業務	発注仕様書作成	豊川市	H 26	H 26	○								
廃棄物処理 施設における 長寿命化計 画策定支援 に関するもの	32	豊川市清掃工 場長寿命化計 画策定支援事 業	施設長寿命化計画作成	豊川市	H 25	H 25	○								
その他	41	不法投棄物 への対応	・市民からの通報、相談に対す る迅速な対応 ・公共用地への不法投棄物の速 やかな除去 ・民有地への不法投棄物は、原 則は土地の占有者の責務とする が、被害程度の大きい場合は一 部の公共負担を検討	豊川市	H 25	H 29									
	42	在宅医療廃棄 物の適正処理	安全かつ適正な排出方法など、 広報(ごみカレンダー・ホーム ページ)で啓発を行う。	豊川市	H 25	H 29									
	43	災害廃棄物	災害が発生した場合、迅速に処 理・処分が行えるよう検討して いく。	豊川市	H 25	H 29									

施設概要（リサイクル施設系）

都道府県名 愛知県

(1) 事業主体名	豊川市
(2) 施設名称	刈り草・剪定枝破碎堆肥化施設
(3) 工期	平成 27 年度～平成 28 年度
(4) 施設規模	処理能力 16 t / 日
(5) 処理方式	破碎、堆肥化
(6) 地域計画内の役割	マテリアルリサイクル推進施設
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	

「廃棄物原材料化施設」を整備する場合

(8) 生成する原材料及びその利用計画	
---------------------	--

「ごみ固形燃料化施設」を整備する場合

(9) 固形燃料の利用計画	
---------------	--

「ストックヤード」を整備する場合

(10) スtock対象物	
---------------	--

「容器包装リサイクル施設」を整備する場合

(11) 容器包装リサイクル推進施設の内訳	
-----------------------	--

(12) 事業計画額	480,000 千円
------------	------------

施設概要（リサイクル施設系）

都道府県名 愛知県

(1) 事業主体名	豊川市
(2) 施設名称	不燃ごみ選別施設、資源選別施設、紙・布類ストックヤード
(3) 工期	平成 27 年度～平成 28 年度
(4) 施設規模	処理能力 不燃ごみ 6 t/日 金属・缶類 2.2 t/日、びん類 5.2 t/日 紙・布類 500 m ²
(5) 処理方式	不燃ごみ：破碎、選別 金属・缶類、びん類：選別 紙・布類：集積
(6) 地域計画内の役割	マテリアルリサイクル推進施設
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	

「廃棄物原材料化施設」を整備する場合

(8) 生成する原材料及びその利用計画	
---------------------	--

「ごみ固形燃料化施設」を整備する場合

(9) 固形燃料の利用計画	
---------------	--

「ストックヤード」を整備する場合

(10) スtock対象物	紙・布類（新聞紙、段ボール、紙パック、雑誌類、古布等）
---------------	-----------------------------

「容器包装リサイクル施設」を整備する場合

(11) 容器包装リサイクル推進施設の内訳	
-----------------------	--

(12) 事業計画額	450,000 千円
------------	------------

施設概要（熱回収施設系）

都道府県名 愛知県

(1) 事業主体名	豊川市	
(2) 施設名称	豊川市清掃工場	
(3) 工期	平成 27 年度～平成 29 年度 (全体工期平成 27 年度～平成 31 年度)	
(4) 施設規模	処理能力 264 t / 日 (内訳)	
	ストーカ式焼却炉 134 t / 日 (67 t / 日 × 2 炉)	シャフト炉式ガス化熔融炉 130 t / 日 (65 t / 日 × 2 炉)
(5) 形式及び処理方式	全連続燃焼ストーカ式焼却炉	シャフト炉式ガス化熔融炉
(6) 余熱利用の計画	1. 発電の有無 ① (発電効率 1.1%) ・ 無 2. 熱回収の有無 ① (発熱回収 3.7%) ・ 無	1. 発電の有無 ① (発電効率 7.6%) ・ 無 2. 熱回収の有無 有 (発熱回収 - %) ・ ②
(7) 地域計画内の役割	基幹的整備の改良により施設の延命化、CO ₂ を3%以上削減	
(8) 廃焼却施設解体工事の有無	無	

「灰熔融施設」を整備する場合

(9) スラグの利用計画	
--------------	--

「高効率原燃料回収施設」を整備する場合

(10) 発生ガス回収効率及び発生ガス量	1. 発生ガス回収効率	Nm ³ /t
	2. 発生ガス量	Nm ³ /日
(11) 回収ガスの利用計画		

(12) 事業計画額	3, 076, 700千円 (全体事業費 5, 014, 900千円)
------------	--

計 画 支 援 概 要

都道府県名 愛知県

(1) 事業主体名	豊川市				
(2) 事業目的	刈り草・剪定枝破碎堆肥化、不燃ごみ選別、資源選別、 紙・布類ストックヤード施設整備のため				
(3) 事業名称	事業番号 1 に 伴う環境影響 評価業務	事業番号 1 に 伴う測量・地質 調査業務	事業番号 1 に 伴う施設基本 設計	事業番号 1 に 伴う施設実施 設計	事業番号 1 に 伴う造成工事 実施設計
(4) 事業期間	平成 25 年度 ～ 平成 26 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 26 年度	平成 26 年度
(5) 事業概要	環境影響評価 等	測量・地質調査	施設基本設計	施設実施設計	造成工事 実施設計
(6) 事業計画額	6, 930 千円	3, 420 千円	20, 676 千円	50, 269 千円	9, 806 千円

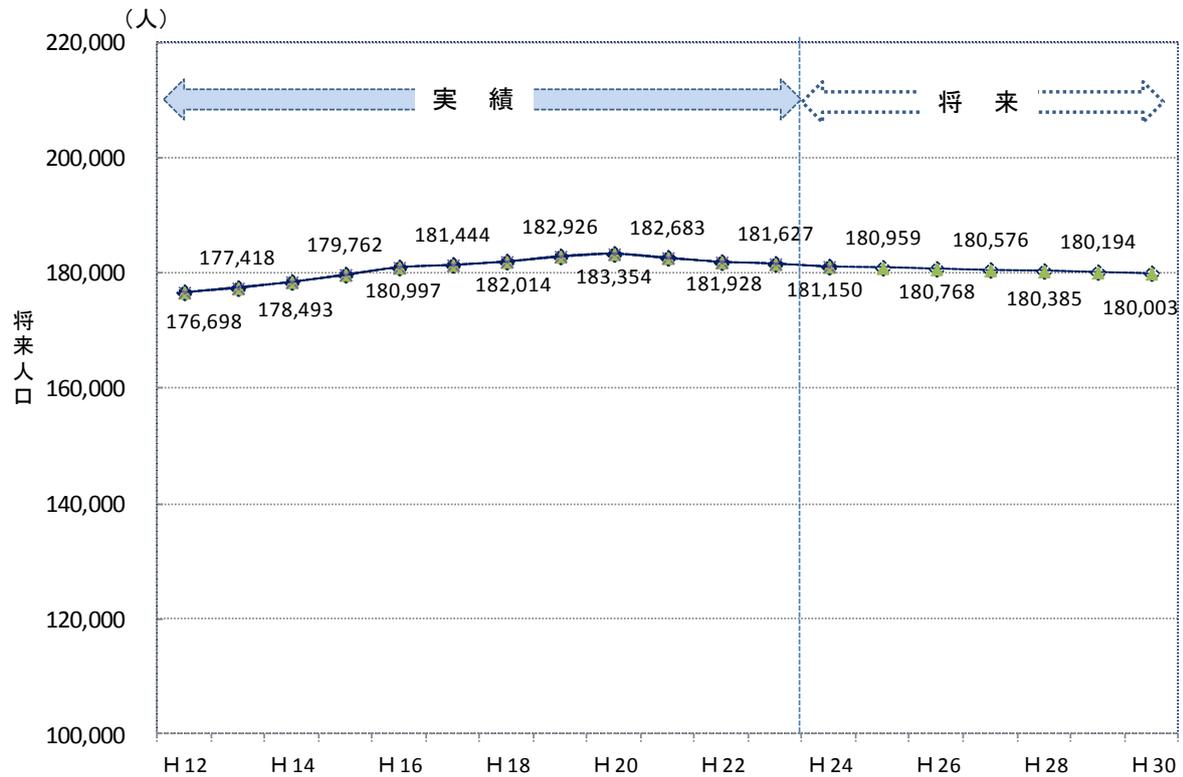
計 画 支 援 概 要

都道府県名 愛知県

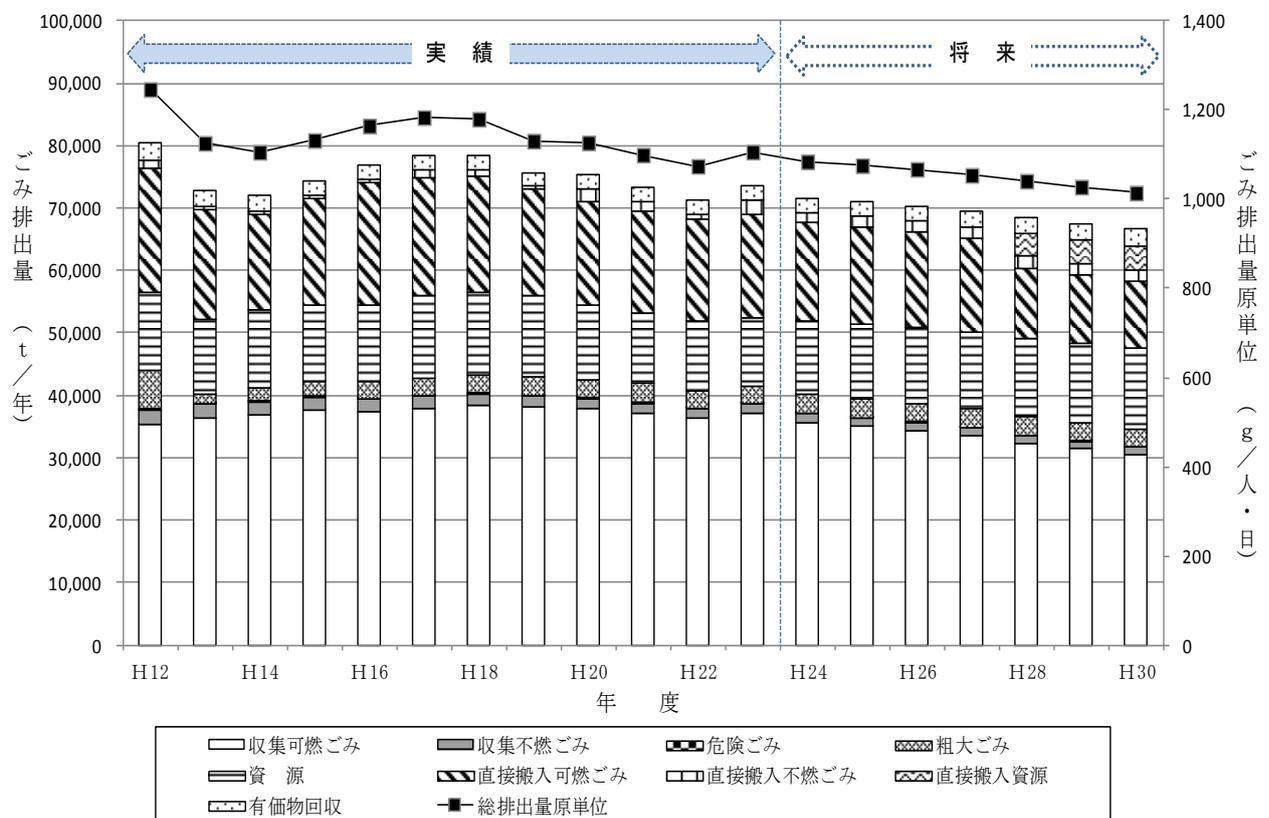
(1) 事業主体名	豊川市		
(2) 事業目的	<u>焼却処理施設長寿命化のため</u>		
(3) 事業名称	事業番号 2 に伴う長寿命化計画策定支援事業	事業番号 2 に伴うストーカ式焼却炉発注仕様書作成業務	事業番号 2 に伴うシャフト炉式ガス化熔融炉発注仕様書作成業務
(4) 事業期間	平成 25 年度	平成 28 年度	平成 26 年度
(5) 事業概要	施設長寿命化計画を作成する	ストーカ式焼却炉発注仕様書を作成する	シャフト炉式ガス化熔融炉発注仕様書を作成する
(6) 事業計画額	11,403 千円	3,707 千円	3,707 千円

【添付資料 1 : 人口等指標のトレンドグラフ(ごみ)】

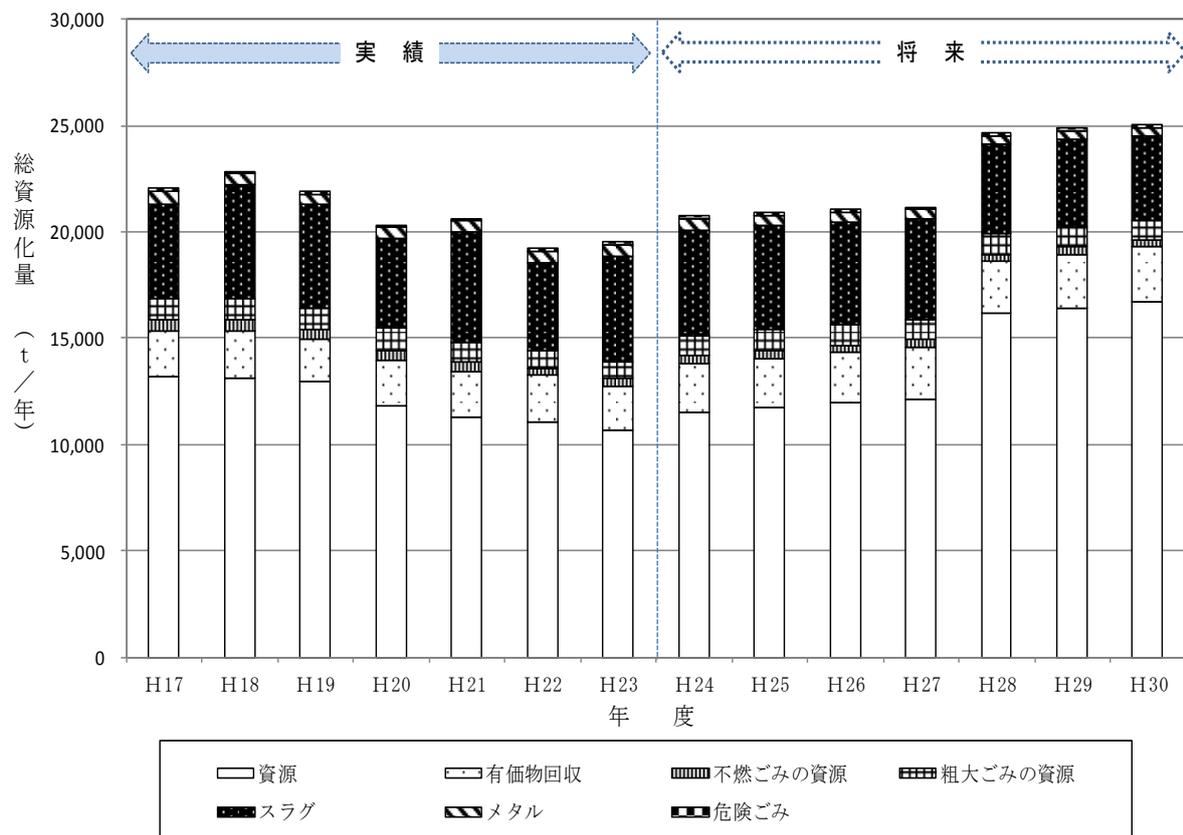
人口及びごみ総排出量、総資源化量、最終処分量のトレンドグラフを資料図-1～図-4に示す。



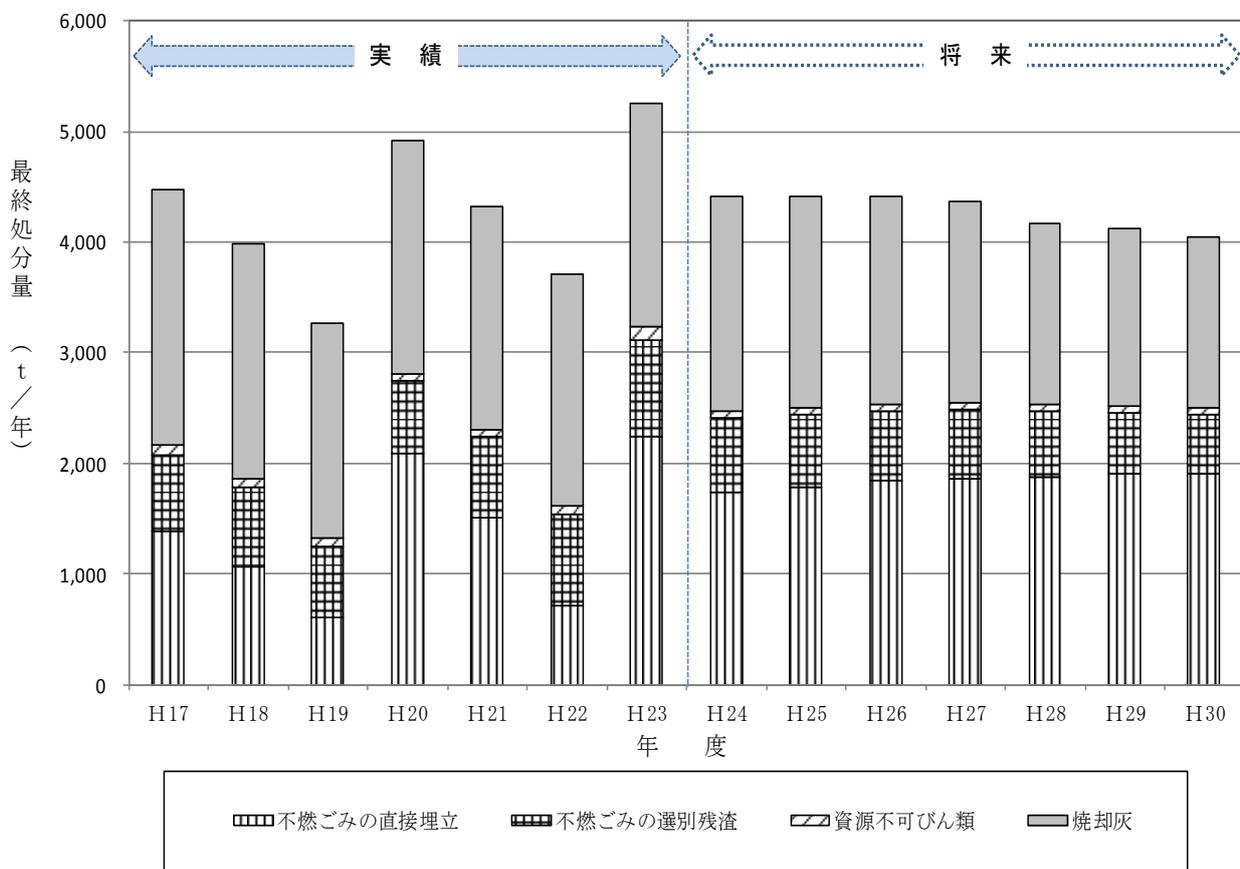
資料図-1 人口トレンドグラフ



資料図-2 ごみ排出量トレンドグラフ



資料図-3 総資源化量トレンドグラフ



資料図-4 最終処分量トレンドグラフ

【添付資料 2 : 施設概要】

■ 清掃工場

名称 豊川市清掃工場
所在地 豊川市平尾町親坂50番地
敷地面積 35,167 m²

工場棟	A棟 (1・3号炉)	B棟 (5・6号炉)
処理能力	67 t /24h×2 炉	65 t /24h×2 炉
工期	着工：H元年7月 竣工：H4年3月	着工：H12年6月 竣工：H15年3月
炉形式	全連続燃焼ストーカ式焼却炉	シャフト炉式ガス化熔融炉
工場棟	延床面積 4,875.31 m ² 地上5階、地下1階	延床面積 9,320.93 m ² 地上6階、地下2階
余熱利用	蒸気：場内及び場外福祉施設で利用 発電：小型蒸気発電機 138 k w	発電：蒸気タービン発電機 1,850 k w
溶融物利用	なし	スラグ・メタルは資源として利用
管理棟	鉄筋コンクリート造 床面積 418.17 m ²	
付属建物	計量棟、手洗洗車棟、自動洗車場、車庫棟、スラグ仮置棟 計 556.51 m ²	

■ 埋立地

① 深田最終処分場

名称 豊川市一般廃棄物深田最終処分場
所在地 豊川市千両町深田31番1
敷地面積 23,300 m²
埋立処分地面積 15,800 m²
埋立容量 80,000 m³
埋立工法 サンドイッチ工法
埋立期間 平成3年4月～

② 三月田最終処分場

名称 豊川市一般廃棄物三月田最終処分場
所在地 豊川市千両町三月田61番1
敷地面積 48,200 m²
埋立処分地面積 19,000 m²
埋立容量 105,000 m³
埋立工法 セル・サンドイッチ工法
埋立期間 平成11年4月～

③ 足山田最終処分場

名 称 豊川市一般廃棄物足山田最終処分場
 所 在 地 豊川市足山田町小金16の1、16の3
 敷 地 面 積 5,020m²
 埋立処分地面積 4,300m²
 埋 立 容 量 17,856m³
 埋 立 工 法 サンドイッチ工法
 埋 立 期 間 昭和61年4月～

④ 金野最終処分場

名 称 豊川市一般廃棄物金野最終処分場
 所 在 地 豊川市御津町金野籠田30
 敷 地 面 積 6,756m²
 埋立処分地面積 2,500m²
 埋 立 容 量 9,102m³
 埋 立 工 法 サンドイッチ工法
 埋 立 期 間 平成6年4月～

平成23年度 一般廃棄物最終処分場埋立量 単位：m³

	深田処分場	三月田処分場	足山田処分場	金野処分場
埋立量合計	462	1,274	2,053	0
ごみ埋立量	0	474	1,969	0
覆土量	462	800	84	0
残余容量	8,684	82,532	109	8,368

⑤ 千両焼却灰最終処分場（埋立終了済み）

名 称 豊川市千両焼却灰最終処分場
 所 在 地 豊川市千両町下ノ市場129
 敷 地 面 積 11,274m²
 埋立処分地面積 8,570m²
 埋 立 容 量 24,641m³
 埋 立 工 法 サンドイッチ工法
 埋 立 期 間 平成3年4月～平成8年3月埋立終了

⑥ 一宮焼却灰最終処分場

名 称 豊川市一宮焼却灰最終処分場
 所 在 地 豊川市上長山町一ノ沢80
 建物床面積 712.48m²（機械室・事務所棟）
 敷 地 面 積 40,080m²
 埋立処分地面積 12,230m²
 埋 立 容 量 84,493m³
 埋 立 工 法 サンドイッチ工法
 埋 立 期 間 平成11年4月～平成26年3月

平成23年度 焼却灰最終処分場埋立量

単位：m³

	千両焼却灰最終処分場	一宮焼却灰最終処分場
埋立量合計	0	5,427
焼却灰埋立量	0	2,021
覆土量	0	3,406
残余容量	0	16,319

■ 資源選別暫定施設

名 称 豊川市資源選別暫定施設
 所在地 豊川市千両町深田31番1 (一般廃棄物深田最終処分場内)
 敷地面積 1,110m²
 稼動開始 平成5年度～

(処理能力)

金属・缶類 1.0t/日(5h)
 びん類 1.7t/日(5h)

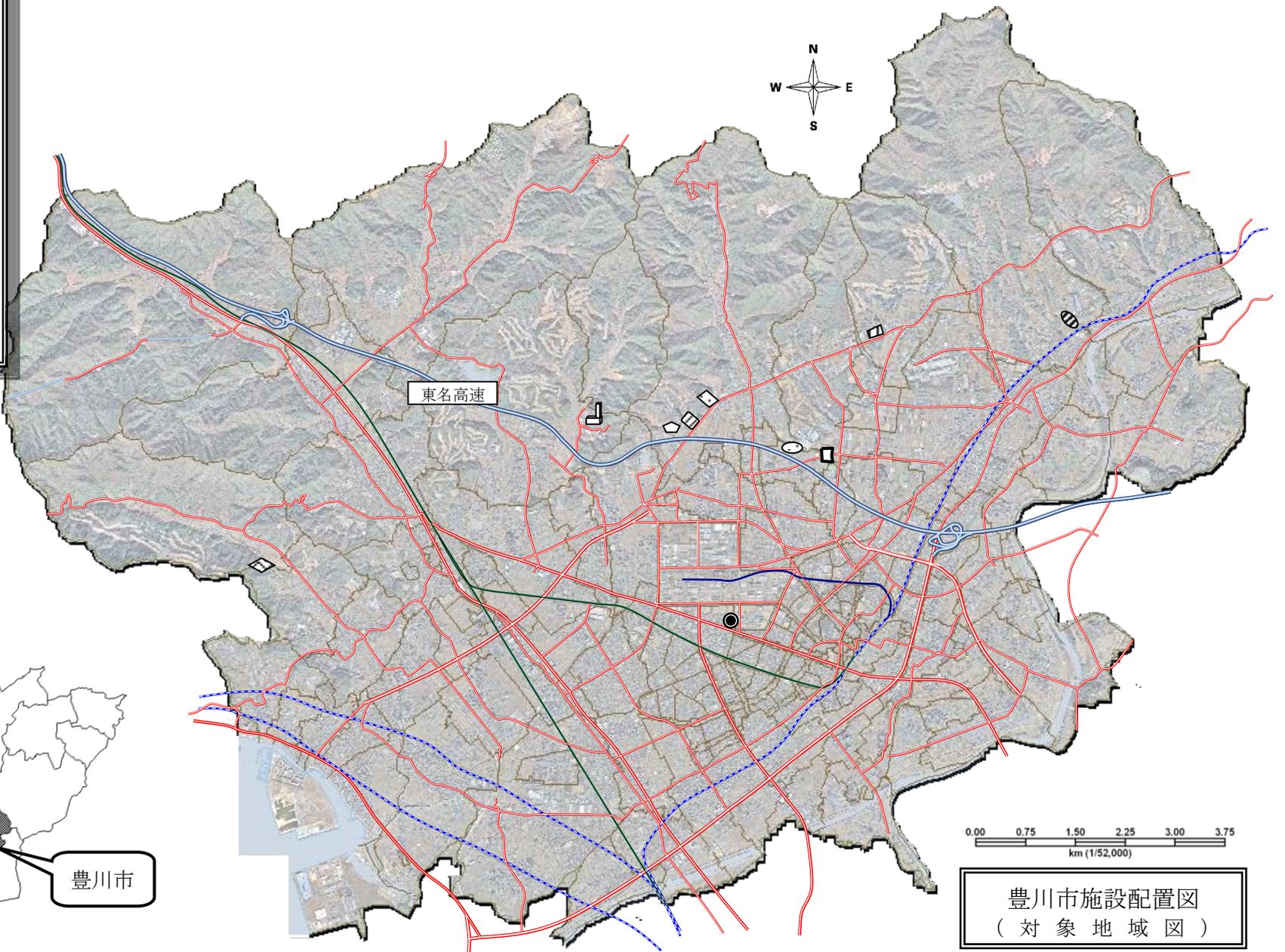
■ 不燃ごみ選別暫定施設

名 称 豊川市最終処分場延命化暫定施設
 所在地 豊川市千両町深田31番1
 (一般廃棄物深田最終処分場内)
 建物面積 103.7m²
 稼動開始 平成7年度～

■ 処理センター

名 称 豊川市処理センター
 所在地 豊川市千両町上西ノ谷53番地の60
 敷地面積 8,356.53m²
 建物面積 管理棟 131.30m²
 作業場 715.32m² 計 846.62m²
 設置機器
 ペットボトル減容機 1.12t/日
 リサイクル型蛍光管破碎機 0.96t/日
 白色トレイ減容機 0.48t/日

-緑のリサイクルセンター(仮称)
建設予定地
- ㄣ豊川市清掃工場
- ◇豊川市三月田最終処分場
豊川市深田最終処分場
(最終処分場延命化暫定施設)
(資源選別暫定施設)
- ▧豊川市足山田最終処分場
- ◊豊川市金野最終処分場
-豊川市千両焼却灰最終処分場
- ◐豊川市一宮焼却灰最終処分場
- ◑豊川市処理センター
(粗大ごみ受付センター)
-豊川市役所



0.00 0.75 1.50 2.25 3.00 3.75
km (1/52,000)

豊川市施設配置図
(対象地域図)